

大震災・復興ニュース(第124報)

平成25年9月5日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年8月30日～9月3日
- 2 測定分析機関 (一財)九州環境管理協会, いであ(株),(株)総合水研究所
- 3 測定結果
 - ・すべての検査品目について, 基準値を下回り, 安全性に問題のないことが確認されました。

水産物(採取日 平成25年8月19日～8月26日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ヒラメ	鮫浦湾	不検出	ヒラメ	岩沼市二の倉沖	32
ヒラメ	金華山～江の島沖	不検出	カツオ	日本太平洋沖合北部	不検出
ヒラメ	仙台湾	4.5	-	-	-

2 管内の復興に向けた動き

東名共同カキ処理場が完成しました!

平成24年度水産業共同利用施設復旧整備事業により, 宮城県南部施設保有漁業協同組合が事業主体となって今年4月から建設が進められていたカキ処理施設が, この程, 東松島市東名漁港に完成しました。

この処理場は, カキ養殖業者12経営体が共同で使用し, むき身で年間144トン(1億8千万円)の生産を目指します。



荒浜漁港の復旧状況について

巨理町の荒浜漁港は、東日本大震災の影響で施設の沈下や流出など大きな被害を受けました。このため、昨年度より本格的な復旧に着手して参りましたが、この程、下図施設(赤着色)の工事が完成し利用可能となりました。また、工事完了箇所以外(青着色)も部分的に利用可能となっています。(黄色の部分は昨年度中に完成した施設です。)

荒浜漁港は、すべての施設が被災しており今後も各施設の復旧工事が行われることから、関係者の方にはご不便をおかけしておりますが、ご協力をお願いします。

